

「先生へのメッセージ：学校教育における交通環境学習(MM教育)の役割」

筑波大学大学院 人間総合科学研究科准教授 唐木 清志

今日、学校教育にはさまざまな教育活動が導入されています。キャリア教育、情報教育、国際理解教育など、数え上げればきりがありません。今の社会の変化を止めるのは不可能に近いので、今後も新しい「 教育」は導入され続けるのでしょう。

さて、そのような中で、さらに新たな「交通環境学習(MM教育)」の提案です。「もういいよ」と考える先生がいても、それは決して不思議ではありません。ただ、そのようにお考えの先生に、私から一言伝えたいと思います。「交通環境学習(MM教育)は決して新しい教育活動ではありません。それは、これまで積み重ねてこられた教育実践を、新たにまとめ直す、一つの教育的枠組みなのです。」

現在の学校教育活動を、俯瞰してみましょう。交通安全教室、PTAによる安全マップの作成、社会科における交通に関する学習、そして、環境教育、これらはどの学校でも実践されているのではないのでしょうか。交通環境学習(MM教育)の発展を願うわれわれは、このように個々バラバラに実践されてきた教育活動の間につながりを持たせるべく、今回、交通環境学習(MM教育)を提案するに至りました。交通や環境に関心をお持ちの先生は、ぜひ、交通環境学習(MM教育)の理論や方法に学び、それと関連した教育活動を連携させて、意義ある教育課程と教育実践を生み出して欲しいと思います。

交通環境学習(MM教育)の発展には、保護者の方々と交通事業者の協力が欠かせません。特に、交通事業者には、先生とぜひ積極的に関わって欲しいと思います。先生は専門的な知識・技能の提供を求めています。専門的な知識・技能が十分に得られれば、充実した教育活動が展開できるからです。よろしくお願いいたします。